

第89回メーデー中央大会 式典次第

<日時>2018年4月28日(土)
10:30~11:30

<会場>代々木公園B地区



司会 山本 和代 連合副事務局長

○開会宣言 芳野 友子 実行副委員長

○大会実行委員長あいさつ 神津里季生 実行委員長

○来賓あいさつ

・政 府 代 表	加藤 勝信 厚生労働大臣
・東 京 都	小池百合子 東京都知事

○来賓紹介(福祉事業団体)

・中 央 労 福 協	花井 圭子 事務局長
・労 金 協 会	中江 公人 理事長
・全 労 済	中世古廣司 理事長
・日 本 生 協 連	本田 英一 代表理事会長
・日本退職者連合	人見 一夫 会長

○私の訴え 本田 翼 [法政大学キャリアデザイン学部4年生]

[1996年生まれ。東京都出身。大学では教育について研究する一方、労働についても関心を持ち学ぶ。新しいキャリアの形を労働組合や労働教育の観点から模索している。]

○被災地からのアピール 永井 ^{やすのり}康統 [NPO法人 ^{おおなみ}0073代表]

[2012年2月より福島市で除染業務に従事、2017年9月に会社を退職し営農支援を行うNPO法人0073(おおなみ)を設立。今年4月より福島市で地域おこし協力隊として委嘱され、適正価格で販売ができる販路と農業6次化による農家の収益アップを目指した活動を行っている。]

○メーデー宣言(案)提案・採択 齊藤 舞 メーデー常任実行委員

○閉会あいさつ 岡田 啓 実行副委員長

○がんばろう三唱 佐藤 良太 連合青年活動委員会
(ユースター委員会) 委員

メーデー宣言(案)

私たちは本日、第89回メーデー中央大会を開催した。

メーデーは、米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。世界の働く仲間がこの日に集い働く者の権利を求め、団結と連帯を誓いあった。改めて、性別や世代、産業や雇用形態などの違いを乗り越え、すべての働く仲間や生活者、労働組合、関係団体、NPO・NGOなどが連帯することの大切さを認識し、次の時代に引き継いでいこう。

東日本大震災の発生から7年、熊本県を中心とした九州地震から2年が経過した。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられている。また、被災地では子どもたちの心のケア、高齢者の孤立死、若年層を中心とした人口流出など、様々な課題が山積している。震災を風化させず、被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みとあわせて、被災地の復興・創生に向けた継続的かつ幅広い運動を展開していく。

日本社会は、未だ長時間労働や後を絶たない過労死・過労自死、雇用形態や性別などの違いによる格差問題などが深刻化している。春季生活闘争における「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざしていく。真に働く者のための「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けられる社会を今こそ創ろう。

世界では、貧富の格差拡大に加え、保護主義の台頭や排他的ナショナリズムによる社会構造の分断など、各方面での緊張感が高まっている。世界の恒久平和に向けた運動を強化するとともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成のために、政府や経営者団体、国際労働組合総連合（ITUC）などと連携し、すべての人が平和と人権を守り、豊かさを享受できる世界をめざしていく。

戦後世界を支えてきた自由や民主主義という規範が揺らぐ中、わが国においては、その根幹に関わるような出来事が続いている。この危機を乗り越え、健全な民主主義を取り戻すために、先頭に立って努力することを誓いあおう。

私たちはメーデーの起源を心に刻み、すべての仲間の連帯で、「ディーセント・ワーク」の実現に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2018年4月28日
第89回メーデー中央大会

各種イベントのご案内

日本プロ野球選手会OBによるイベント



元ヤクルトスワローズ投手
ギャオス内藤さん

たくさんの参加
お待ちしております

11:45~12:30 「子どもキャッチボール教室」

12:45~14:00 「キャッチボールクラシック」

☆式典終了後 サッカー場内会場

日本車椅子レクダンス協会によるイベント

車椅子レクダンス

第1回 11:30~12:00

第2回 13:00~13:30

会場：WEエリア ミニSL横

【献血のお知らせ】

メーデー参加のみなさまへ…「愛の献血」にご協力をお願いします。

献血から生まれる“愛の贈り物”が貴い命を救いますー。

輸血用の血液は、まだ人工的につくることができず、また、長い期間にわたって保存することもできません。輸血用の血液製剤の有効期間（採血後）は、血小板製剤が4日間、赤血球製剤が21日間、血しょう製剤が1年間となっています。そのため、輸血に必要な血液を、いつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの血液が必要となります。献血にかかる時間は、全血献血の場合、受付から採血後の休憩まで最短で約40分。そのわずかな時間によって、大切な命を救うことができるのです。

場 所：メーデー会場原宿駅側ゲート（アーチ）近く

受付時間：9時15分~13時00分

目 標：50名様以上…より多くの方のご協力をお願いします☆

飲酒後は献血が出来ませんのでご注意ください。